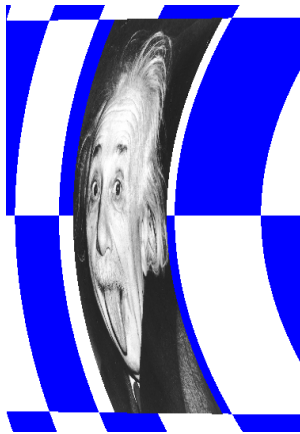


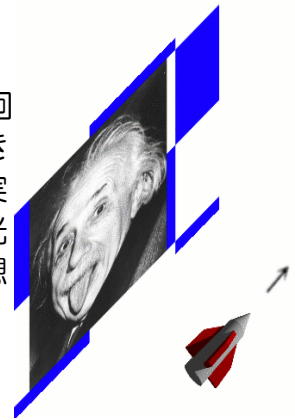
コンピューターグラフィックスで見る相対論(203 教室)



左の図のアインシュタイン先生の顔は、なぜこんなに曲がってしまっているのでしょうか？

実はこれは、光速の95%で飛びながら、壁にかかる写真を見たところなのです。

我々は、光速の95%なんて速度で飛び回することは普段できない（たぶん、一生できない？）ので、どうしてこうなるのか、実感することは難しいでしょう。しかし、光速に近い速度で動きながら物を見ると、想像もしないものが見えてくるのです。



この部屋では

- ・光速に近い速度で動くとは何が起こるのか？
- ・ブラックホールの近くでは物はどう見えるのか？

などなどの相対論的現象をCG（コンピューターグラフィックス）の力を借りてお見せしたいと思います。人間には普通見ることができない、相対論の世界を覗いてみましょう。